

**資料3**

平成30年11月30日

平成30年度第1回学校関係者評価を踏まえた課題への取組み・改善の進め方

標記について、平成30年10月の教職員会議において検討し、以下の方向で取組み及び改善を進めることを確認した。

1 学校の理念、教育目標

昨年度に引き続き、方向性を持った介護福祉士養成を継続している。

2 平成30年度の重点目標と達成計画

介護福祉士国家資格取得のため、一人ひとりの能力に応じ、個別指導にも力を入れてきた。

3 評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
●教育理念の中に「人権意識、倫理観を持つ人間性豊かな介護福祉士を育てる」とあるが、倫理観についてどのように学生に学ばせているか。また介護福祉士としての職業倫理観がどのように学生に響いているか。	○「吉福祭」や「子ども大学よしかわ」、「吉川市民まつり」などのイベントを通じて、相手を思いやる豊かな心を育てる場面を増やしていきたい。 ○1年生の前期より「人間の尊厳と自立」の授業内で倫理観について学ばせているが、他の授業の中でも職業倫理観についての教育を取り組んでいきたい。 ○介護実習の前後で学生自身の職業倫理観にどのような変化が生まれたかなどを聞き取りしていきたい。

<p>●国家試験の合格率について、平成29年度は88%だったが、合格率を上げるための今年度の取り組みについて。</p>	<p>○卒業学年へは「介護特別演習」の授業内での対策講義や11月と1月に集中して国試対策講座を実施する。</p> <p>○学力不足が懸念される学生に対して、週に1回放課後を利用した勉強会を実施している。</p> <p>○12月2日に実施する「全国一斉模擬試験」への受験を勧め、卒業学年13名が受験予定である。</p> <p>○今年度国家試験受験予定の留学生4名について、国家試験に向けて意識の向上が見受けられるようになってきた。留学生については、一人でも多くの合格者が出せるように引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>●外国人留学生の受け入れの現状と今後の受け入れ体制等について</p>	<p>○平成30年度の留学生の受け入れ状況は、1年生が3名（インドネシア1名、ベトナム2名）、2年生が4名（台湾2名、ベトナム2名）である。</p> <p>○平成31年度入学予定の留学生は6名。国籍はインドネシア、ミャンマー、ベトナム、フィリピンとなる見込み。</p> <p>○今後の留学生の受け入れについては、今年度の国家試験の合格率や在籍している留学生の学力、教育体制等を考慮して検討していきたい。</p> <p>○平成30年10月より留学生の在留資格審査が厳格化され、ネパールやスリランカ、バングラディッシュやミャンマー等の国で在留資格認定申請の交付率が50%前後から一気に一桁台まで下がっている（中国やベトナムなどでは交付率が90%とあまり変化なし）。今後、留学生は減少傾向の見込みである。</p>

基準2 学校運営  
特になし

基準3 教育活動  
特になし

基準4 学習成果  
特になし

基準5 学生支援  
特になし

基準6 教育環境  
特になし

基準7 学生の募集と受け入れ  
特になし

基準8 財務  
特になし

基準9 法令等の順守  
特になし

基準10 社会貢献・地域貢献  
特になし

全般に関する意見

学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
●吉福祭や吉川市民まつり等に参加している学生を見て、表情などが年々良くなってきていると感じる。SNSや学内外の掲示物などを利用した情報発信は、学生自身の意識の向上にもつながっていると思う。	○学生の普段の授業の様子やイベントなど、定期的にSNS等で情報発信をしている。 ○学内だけでなく校舎の外にも学生の様子を掲示するなどして、地域に根差した介護福祉士養成により力を入れていきたい。